

2018年4月1日

第287号

藤 沢

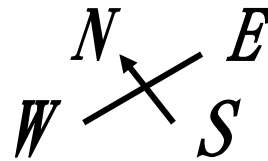
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

主
な
記
事

- ・レジームシフトにまつわる逸話Ⅱ
- ・静かに空を返せの歌声を
- ・持ち込みゴミ手数料値上げ・放射能測定値
- ・17年ぶりに戻った東京



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

TEL/FAX 0466-87-4922

原発のない日本はいつやってくる？

福井県大飯原発と佐賀県玄海原発が、この3月次々と再稼働した。全国で7基が稼働している。周辺自治体は反対しているが、同意が必要なのは、原発立地市町村と県のみだという。周辺30km圏内の自治体は、避難計画をつくる義務はあるが、同意は必要としないという矛盾した規制基準。福島原発事故の教訓は何だったのか？30km圏内が避難区域となり、生活が破壊されたのではなかったのか？玄海原発の30km圏の周辺4市は反対決議と訴えをしている。住民第1の民主主義はどこへ行ったのか。

先日小田原で「福島原発事故の支援に来た米空母兵士の悲劇」映画上映会があった。あまり知られていないが、福島原発事故による死者9名が発生しているトモダチ作戦で、その実態を伝えるドキュメント映画だ。

トモダチ作戦とは、2011年3月11日東日本大震災発生後、12日福島第1原発が水素爆発、日本政府は米国に救援要請を行い、13日早朝、航空母艦ロナルドレーガン他第7艦隊艦艇20数隻が宮城県沖に到着、気仙沼等に缶詰3万食等をヘリで空輸。まもなく甲板に放射能ブルーム到来、兵員は放射能を繰り返し浴びた。14日3号機水素爆発、15日4号機水素爆発。9月にトモダチ作戦航海が終了。約2万4千名、航空機190機が参加、食料品280トン、水770リットル、燃料4.5万リットルその他を提供してくれた。

作戦中から兵員に頭髮抜けや下痢、出血等種々の異変が生じ、2012年12月、リンゼイ・クーパーさん他8名がサンディエゴ連峰地裁に補償を求めて東電、日本政府を提訴。「外国政府は審判対象外」となり、東電が裁判地で不服、控訴した。小泉元首相は約3億円の義援金・民間支援を立ち上げた。この間骨髄腫、急性リンパ腫等で9名死亡、集団訴訟となり原告400名を超えた。陪審員裁判で、被告は東電の他、製造物責任法を適用してGE、エバスコ、日立、東芝。法廷審理は2019年5月予定。映画は両足切断した米兵や子宮を切除した女性米兵が、自分の体験談を話す貴重なドキュメントである。

藤沢でも是非上映したいと思う。(青柳節子)



満開のサクラとユキヤナギ(湘南台公園)

レジームシフトにまつわる逸話 そのⅡ

(前号からの続き)

2つ目の話題は、『広辞苑』第6版への「レジームシフト」というキーワードの掲載の経緯その後についてです。最近第7版が出版され話題を振り舞っている「広辞苑」ですが、10年前の第6版の改訂にまつわる話です。この時のキャッチフレーズは「ことばには意味がある」で、川崎先生が提唱された「レジームシフト」が新しく追加されました(註参照)

私の広辞苑との付き合いは、1998年刊行の『第5版』と2008年刊行の『第6版』です。担当は「漁業」分野で、その事は前の版の校閲と新しく加える項目(新加項目)の執筆です。

この2回のお付き合いで印象に残っていますのは、第5版の校閲に際して、第4版の漁具・漁法等の解説を全面的に書き直したことです。道具と機械の区別もつかない漁撈学のテキストの書き写しとみられる記載を拙稿「漁業技術論」、「現代水産経済論」に水産学の全体像を加えて全面的に書き改めました。このことについて岩波書店の編集部も納得しているようです。「第6版」では、「レジームシフト」というキーワードが「新加項目」40語の中に入りました。そこでこの「語」の説明をどうするかがまず問題でした。編集部からの文書は、備考欄に気候もしくは海洋分野に依頼?、と注記があったからです。しかし、私はこの注記は黙殺することとし、私が原稿を書くこととしまして川崎先生にご指導をお願いしました。書き上げた原稿は何度か電話でチェックして頂き、原稿を書き上げました。「広辞苑」には「レジームシフト」のコンセプトに当たる部分が掲載されました。原稿にはなお、マイワシなどの資源変動云々という追記がありましたが、この部分はカットされました。しかし、この後が川崎先生の出番でした。

先生は岩波書店と交渉し、
2009年6月、岩波新書
『イワシの資源変動—
漁業の未来を考える』
を出版されたのです。



(註)「広辞苑」について

第5版:時代の要請に応えるという観点から、既收項目を全面的に検討し、必要に応じた解説を書き直した。新たに見出し語約1万項目を増補(地球規模での環境問題などに関する用語が日常的に使われるようになった)。

第6版:5版刊行後10年を経て新版を発行。現代の急速な社会の変動やさまざまな分野の研究の進展、科学・技術の進歩に伴って生じた新しい動きを反映させることに努めた。「漁業」分野の新加項目は「レジームシフト」を含め40語。

第7版:最近、10年ぶりに改訂され、安全神話・がつつり・ツイートなど1万項目が追加された。今回のキャッチフレーズは「ことばは自由だ」。大海原宏(東京水産大学名誉教授・福井県立大学名誉教授)

静かな空を返せ♪の歌声を

大和みんなでつくる平和コンサート“静かな空を返せ”“もう落ちないで”の願いをうたごえに込めて3月10日大和で開催されました。

厚木基地での爆音が周辺住民を悩ましています。大和の館野鉄工所に1964年に米戦闘機が墜落し5人が亡くなりました。1977年には横浜市緑区の民家に米軍戦闘機が墜落、2人の子どもの命が奪われ、その後全身にやけどを負った母親も亡くなり「パパママ・バイバイ」でも知られた事故です。神奈川県は沖縄に次いで基地の多い県で、米軍ジェット機が横須賀の原子力空母を起点に訓練飛行しこの空は騒音でいっぱい、落下物にも悩まされています。と実行委員長の滝本氏は言いました。

多彩なプログラムでその歌声は会場いっぱいの参加者を魅了しました。

最後のコーラス“静かな空を返せ合唱団”で公募の方や神奈川合唱団有志、藤沢合唱団が歌い上げた「創作組曲 湘南の風に乗って」は総勢70人、迫力といい詩や曲といい、感動で涙が出るほどの圧巻でした。

作詞の江成兵衛さんは大和の泉の森を訪ね、自然

豊かな谷戸は、はるか昔から湧き出している。私たちも同じように生まれてきた命、戦争や暴力や不条理の事故で奪われることなく命を全うしたいとあいさつしました。1～6章あり全部歌うと30分ほどかかる組曲。指揮者は櫛原洋祐さんでまとまりのある合唱ができたのは「指揮がよかった」との声もありました。

大和の合唱団ビナベリーのコーラスで始まり、横井久美子さんはギターをもって「辺野古の海」ほかを歌い、いっしょに歌うところもあり盛り上がりました。

「俺もし死んでなかったら」は横井さんが作曲した館野鉄工所の事故を歌った曲で慰霊碑を建てるため歌で支援を続けているそうです。「戦車は動けない」という曲はベトナム戦争の時、相模原の補給廠から送られるM4 8戦車を出港させないと1972年に反対する中で生まれた「戦車輸送阻止100日闘争」の仲間で歌われた歌を、横井さんは翌年女性文化代表団の一員としてベトナムを訪れ各地で歌を歌った。当時この歌を聴き励まされたベトナムの少女が、思い出のあの歌の歌手に会いたいと30年の歳月を隔てて横井さんを探し当て新たな出会いが始まったそうです

そのほか厚木基地の騒音問題のお話・映像は金子豊貴さん「爆音がうるさいときは先ず市役所に電話してください」と訴えました。

ソプラノ歌手、鴨志田啓子さんの歌があり、約700人が参加し楽しいひとときでした。

(日比遥)

17年振りにもどった東京

生まれは日本橋・両国だった。2ヵ月後には父の転勤で四国高知県に。北九州福岡県田川郡香春町から神奈川県川崎市、またまた横浜市鶴見区に4回も引越した。小学校は転校3回。川崎では田舎者として、ひどいイジメに度々あった。

5回目の転居でやっと東京に帰ってきた。東京都目黒区柿の木坂だった。目黒通りと環七通りの交差するあたりだった。丁度17年振りだったので、嬉しくも

あった。

困ったのは高校3年の転校だった。都立大学前から東横線網島駅でバスに乗り換え、鶴見高校前と約40分であった。逆コースですいていたのも幸いして新聞が一通り読めた。

楽しいことは、網島からのバスで、2つの女子高の生徒が乗り込んで来ることだった。話すチャンスがあったわけでもないが、そばに乗り合わせるだけで、ウキウキしたものだった。

目黒区柿の木坂の家は162坪あり、芝生の庭が広く快適そのもの。そこは、目黒通りと環七通りの工事現場の中間であった。渋滞緩和の昼夜突貫作業の真っ最



環七通りの渋滞

中であつた。

父の気管支ゼンソクの発作は一段と強くなり、気候温暖で空気のきれいな所に行くしか、生きのびることは出来ないところまで進んできていた。

父からは耐え入る発作の合間に、「お前は長男なのだから、しっかりしなければならぬ」の遺言を何10回と聴かされていた。こんな描写はどの小説にもでてこない話だ。しかしこの言葉でやり抜けたのかも。16歳の高校生で、実印を持って手付金を内ポケットの奥に入れ、土地を買う全責任を持たされ、歩き回るのは受験の苦しみどころではなかった。条件は湘南の地で、国鉄の駅から2km、タクシーを降り、玄関ドアまで平らで階段のない事だった。

そこは現在住んでいる藤沢市鵜沼藤が谷だった。今から60年前とはいえ、坪単価1万円とおどろくほど安値だった。つづく (国枝 健)



持ち込みゴミの手数料値上げ

藤沢市議会 2 月定例会が 3 月 20 日、閉会しました。そのなかで藤沢市は今年 10 月から一般廃棄物の処理手数料の値上げを行う方針を示しました。

「藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」の改正によるもので事業系一般廃棄物の搬入量の増加に伴い財政負担が増加していることなどを理由としていますが、家庭から排出された一般廃棄物を市民が施設に直接搬入する際の処理手数料を、収集の場合と同程度の単価(40 円/20L 約 3.5kg) とするために負担割合を 25% から 40% に見直します(表 1 を参照)。

表 1 負担割合変更後の一般処理手数料

種別	取扱区分	処理手数料	負担割合見直し後の処理手数料
一般廃棄物等	一般家庭から臨時に排出された物(大型ごみ及び特別大型ごみを除く)を焼却施設又は破砕施設に直接搬入するとき。	10kg につき 70 円。ただし、搬入重量が 10kg 以下のときは一律 70 円とする。	10kg につき 110 円。ただし、搬入重量が 10kg 以下のときは一律 110 円とする。

市資料からの抜粋

そもそも家庭ごみの処理サービスは「公共財」という性質をもち、その費用は「原則として市町村の税金で賄って行う」ことが本来のあり方です。地方自治法で家庭ごみの処理は、「市町村の自治事務」と位置付けられており、そのために税金が支出されています。ですから、ごみ処理の有料化や値上げで料金を徴収するというのは、税金の二重取りでといっても過言ではありません。自治体の責任でごみ処理サービスを行うべきで、市民に負担を押し付けることはやめるべきです。

(K. M)

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

3/09	税 務 署 入 口	0.049
	合 同 庁 舎 入 口	0.058
	藤沢レディオ湘南前道路	0.048
3/25	サンパール広場	0.049
	藤沢商工会議所前道路	0.063



ECONET INFORMATION

▲女坂花桃まつり 4 月 7 日土曜日 10:00-
湘南台駅西口から、長後駅西口からバスで綾瀬車庫行
「女坂」バス停から徒歩で 3 分 藤沢市用田 108
(尾上工務店前)

▲「原発事故 8 年目 神奈川と福島は今」展
5/5(土)~5/10(木) 10:00-19:00

神奈川県民サポートセンター(横浜駅西口から 5 分)

オープニングトーク 保養・検診 脱被ばく 避難と闘い

ミニトーク 展示 豊田直巳写真展など

・吉原毅さん(城南信用金庫顧問)講演

「原発ゼロで日本経済は再生する」

5/8(火)17:00-19:00 2 階ホール

・「福島は語る」上映(土井敏邦監督ドキュメント)

5/7(月)15:30~2 階ホール ・全て無料です

問合せ 実行委員会 090-2143-7348

▲シンポジウム「種(たね)と食と農」

4 月 29 日(日) 13:30-18:30

川崎すくらむ 21 ホール (溝の口から 10 分)

佐藤雅人さん(ボーカリスト)

天笠啓祐さん「食を語る」 宇根豊さん「食を語る」

アーサー・ピナードさん「たねなしブドウを語る」

参加費 1000 円 主催: 実行委員 090-2669-0413

▲日大公開講座

「バイオマス資源の有効活用が地球の未来を救う」

4 月 21 日(土) 13:30- 日本大学生物資源科学部

講師 日大生物資源科学部教授 西尾俊幸氏。

問合せ 日大生物資源科学部研究事務課
0466-84-3871

▲藤沢エコネットから

◆会員募集=年会費・購読料→2000 円

◆事務局会議 4 月 7 日(土)10 時 活動プラザ六会

◆エコネットニュースを語る会

4 月 25 日(水)10 時 市民活動推進センター

《編集後記》例年より一週間近く早く桜が満開となり晴天に恵まれた 3 月下旬。自治会など団体は新年度の始まり、総会などでいそがしい。みんなが注目した森友学園問題の証人喚問でガッカリとの声があったが、公文書改ざんがこのまま隠蔽されていいのか!。市議会も 3 月議会で大型開発などを含む膨大な新年度予算が決まった中、久々にゴミ問題への投稿があり、お知らせ出来て良かった。